

| | |
|------|--|
| 名 称 | 令和元年度 第2回 目黒区障害者自立支援協議会本会 |
| 日 時 | 令和元年10月25日（金）午後6時～午後8時10分 |
| 会 場 | 目黒区総合庁舎 第15・16会議室 |
| 会議次第 | 1 各専門部会からの報告 2 区からの報告 （1）精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会（報告） （2）医療的ケア児支援関係機関協議会（報告） （3）目黒区基幹相談支援センター設置検討委員会（報告） （4）障害者差別解消支援地域協議会（報告） （5）目黒区特別支援教育推進計画（第四次）改定素案について 3 自立支援協議会イベントについて 4 目黒区障害者計画について （1）障害者計画 平成30年度実績 計画目標に対する評価報告（報告） （2）障害者計画改訂スケジュールについて （3）障害者計画の検討 5 その他 |
| 出席者 | 岩崎会長、北本副会長、松尾委員、橋本委員、町田委員、原山委員、鈴木委員、武井委員、 松原委員、野村委員、山田委員、岸井委員、中島委員、白鳥委員、田村委員、田島委員、河 手委員、橋委員、酒井委員、篠崎委員、保坂委員 欠席 徳永委員、江見委員、重盛委員、田岡委員 |
| 配布資料 | 資料1-1 専門部会報告（相談支援部会） 資料1-1 別紙1 「医療的ケア児コーディネーター」を知っていますか？（事業所向け） 資料1-1 別紙2 「医療的ケア児コーディネーター」を知っていますか？（保護者向け） 資料1-1 別紙3 医療的ケア児コーディネーター設置相談支援事業所一覧 資料1-2 専門部会報告（一般就労部会） 資料1-3 専門部会報告（施設就労部会） 資料1-4 専門部会報告（高齢化・グループホーム対策部会） 資料1-4 別紙1 合同学習会次第 資料1-4 別紙2 合同学習会報告書 資料1-5 専門部会報告（子ども部会） 資料2-1 令和元年度 第2回目黒区精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会 次第. 資料2-2-1 目黒区精神障害者地域移行・定着推進連絡会 他区事業所訪問報告書 資料2-2-2 長期入院患者のニーズ調査について～荒川区の取組～ 資料2-2-3 荒川の暮らし、応援します！～地域移行支援のご案内～ 資料2-2-4 あなたのお気持ちを聞かせて下さい 資料2-2-5 病院へご入院されていらっしゃる、荒川区民のあなたへ 資料2-3 目黒区地域移行に関するアンケート集計結果① 資料2-4 目黒区長期入院状況調査 集計結果② |

| | |
|-----------------------|--|
| | <p>資料 2-5 第二回地域移行・定着作業部会会議録</p> <p>資料 2-6 来年度の事業について（案） 今後の予定（案）</p> <p>資料 2-7 「地域移行支援」の流れ</p> <p>資料 2-8 目黒区精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会名簿</p> <p>資料 2-9-1 地域移行・地域定着推進事業に係る長期入院状況調査について（依頼）</p> <p>資料 2-9-2 目黒区 長期入院状況調査</p> <p>資料 2-9-3 目黒区 地域移行に関するアンケート</p> <p>資料 3-1 令和元年度第 2 回目黒区医療的ケア児支援関係機関協議会 次第</p> <p>資料 3-2 目黒区医療的ケア児等通所支援事業委託事業者の選定について</p> <p>資料 3-3 令和元年度 東京都 医療的ケア児コーディネーター養成研修プログラム</p> <p>資料 3-4 今後の予定について</p> <p>資料 3-5 令和元年度 目黒区医療的ケア児支援関係機関協議会 委員名簿</p> <p>資料 4 障害のある方への基本的な視点とは</p> <p>資料 5-1 目黒区における障害者差別解消に係る相談事例について（令和元年度上半期）</p> <p>資料 5-2 区からの報告について</p> <p>資料 6 目黒区特別支援教育推進計画（第四次）改定素案</p> <p>資料 7-1 第 3 回イベント部会会議録</p> <p>資料 7-2 第 4 回イベント部会会議録</p> <p>資料 7-3 「Given〜いま、ここ、にあるしあわせ〜」自主上映会案内</p> <p>資料 8 障害者計画平成 30 年度実績計画目標に対する評価報告</p> <p>資料 9 障害者計画の改定スケジュールについて（予定）</p> <p>資料 10-1 目黒区障害者計画改定に向けた調査票のまとめ（案）様式 1</p> <p>資料 10-2 目黒区障害者計画改定に向けた調査票のまとめ（案）様式 1（子ども部会）</p> <p>資料 10-3 目黒区障害者計画改定に向けた調査票のまとめ（案）様式 2</p> <p><参考資料></p> <p>参考資料 1 自立支援協議会名簿</p> <p>参考資料 2 自立支援協議会委員席次表</p> |
| 会 議 の 報 告 | <p>1. 各専門部会からの報告</p> <p>2. 区からの報告</p> <p>（1）精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会（報告）</p> <p>（2）医療的ケア児支援関係機関協議会（報告）</p> <p>（3）目黒区基幹相談支援センター設置検討委員会（報告）</p> <p>（4）障害者差別解消支援地域協議会（報告）</p> <p>（5）目黒区特別支援教育推進計画（第四次）改定素案について</p> <p>3. 自立支援協議会イベントについて</p> |

4. 目黒区障害者計画について

(1) 障害者計画 平成30年度実績 計画目標に対する評価報告（報告）

- ・ A評価18%、B評価71%、C評価11%
- ・ C評価の事業について

○地域生活支援拠点事業の実施：相談件数24時間365日で行っているからか増えている。
短期入所は緊急時のショートステイは実施に至っていないので拡充したい。

○基幹相談支援センターによる人材育成体制の構築：事業の委託を含めて検討段階。

○保育所等訪問支援の充実：令和2年度までに実施する。

- ・ 評価をしたのは誰か。

→それぞれ事業所管が行っている。

- ・ 外部の声は反映されていないのか。

→地域福祉審議会等、外部の会議体で報告を行い、意見をいただいている。

(2) 障害者計画改訂スケジュールについて

三計画については地域福祉審議会で検討を進めている。さらに専門的なことは計画改定専門委員会で行っている。障害関係は第4回で検討を行う。

総合支援法で自立支援協議会からの意見を入れるように努めると記載があり、自立支援協議会からの意見は重要と捉えている。

第3回本会の中で協議会の意見を取りまとめて欲しい。

障害者アンケートについて集計を取りまとめている。1月に速報値、3月に確定版を出す予定。アンケートは前回49%、今回は47%の回答率。

(3) 障害者計画の検討

○相談支援部会：重心の巡回入浴。今年度から目黒区でも始まったが、まだ子供は利用できてない。大人も週1回のみ利用となっている。週2回、3回に広げてほしい。週1回も入れてない子どもが対象と言われた。実際は台所で行うなどして巡回入浴の対象にならない。民間事業所の工夫、努力だけでは限界がある。喀痰吸引の補助を来年度は行うが、内容は不明瞭。移動支援、重度訪問介護と同じような研修内容と聞いているが、今までとは違う形が望ましい。

知的の方（大人）の居場所が少ないので作っていく必要性あり。

短期入所は精神の人なし。生活スキルを伸ばす場所が必要。

○高齢GH部会：課題が多様化している。サービスを連携させて進めているが、情報を共有できる仕組みがあることが望ましい。GHが増えているが、まだ不足している。当事者、家族のGHへの認識が低い。

○施設就労部会：精神の事業所から、7月の区長との懇談会で出た意見を出した。区の臨時職員として職場体験という形でできないか。

○意思疎通支援部会：イベント等で点字資料の配布等、情報保障が不十分。失語症等意思疎通支援者の養成講座修了者の支援活動が必要。

| | |
|--|--|
| | <p>○防災部会：障害について知っている人が少ないので啓発していく必要がある。風雨水害について。</p> <p>○子ども部会：児童発達支援センターでの保育所等訪問支援事業は現状できていない。リタリコはやっているので民間の事業所にも支援が広がる仕組みが欲しい。在宅レスパイトについて、家の中では制約が多すぎて子どもが外に出られる仕組みが欲しい。回数制限もなくなればより使いやすい。看護師がもっと動ける仕組みが欲しい。ペアレントトレーニングのニーズは大きく、すでに民間事業所等に委託できる体制ができればいい。</p> <p>行政：医ケアに関してはハード的なものをどう作るか、入浴については事業者との関係もあり、今使っている人含め課題が多い。看護師については一般財源で賄うのは難しい、国の補助事業を使っていきたい。ペアレントトレーニングは国のガイドライン等入っている。事業化はまだ考えてなく、通所サービスの中で各事業所が提供していくものと考えている。人の充実も含めペアレントトレーニングについては考えていきたい。</p> <p>・権利擁護について窓口が「権利擁護めぐろ」のみなのか。苦情調整委員が直接受けてもいいと考えている。</p> <p>→ほ・ねっとひろばで相談を受けており、子ども本人だけでなく保護者からの相談も受けている。</p> <p>→もっと周知してみてもどうか。</p> <p>→ほ・ねっとひろばとしては「めぐろ はあと ねっと」を全小中学校に周知はしている。平成 29 年度から利用者支援事業、子どもや子育てに関する総合相談窓口について周知している。権利擁護めぐろ含めて整理した周知が必要だと感じている。この協議会で周知されていないという意見が出ている以上不十分であると認めざるを得ない。</p> <p>・情報保障について、今までは視覚障害者向けに今までは S P コードを使っていたが汎用性の高いユニボイスを徐々に増やしている。</p> <p>・要望を計画の中に入れておいた方がいいのでは。</p> <p>→基本構想に基づく計画との整合性をはかって計画を立てる。土地の活用を含め検討する。災害対策、これまでは地震中心だったが、風雨水害についての検討していきたい。</p> <p>・他に意見等あれば 1 1 月中に事務局へ。そのまとまった意見をもとに会長、副会長、各部会長、事務局で検討してまとめたい。1 月の本会で案を出してある程度決めて、2 月の地域福祉審議会に活かしたい。</p> <p>5. その他</p> |
|--|--|